

(はじめに) 中国はいつも驚きを与えてくれる“人類史上最大”と言われる不動産バブルを含め中国で起きている様々な驚くべきことを背景に「中国人という体験」それは“人が多い”こと、それもとんでもなく、中華帝国は日本人にとって脅威であると同時に常に驚きであり、あまりにも巨大なので隣国日本は否応なくその運命に巻き込まれざるを得ない、日中関係が難しい時期を迎えている、今こそ一人一人が中国について驚き考えてみるのが大切なのでは・・・

( 巻頭 ) **中国 10 大鬼城**(ゴーストタウン) 観光

1. 内モンゴル自治区オルドス～“廃墟都市観光メッカ”～中国の不動産バブルがよく分かる、人口 30 万人のオルドス市が 100 万人規模の超モダン文化・経済都市を計画、住宅を 100 ヶ所・100 名の中国内外の建築家を集めた、オルドス市は毎年 5 億トンの石炭を生産し 3 兆円の収入だが石炭価格の大幅な下落で新都心計画は頓挫し 100 万人分の住宅に 3 万人程度しか住んでいない、中国のメディアでは「オルドス市は 1 千億元以上の負債で地方政府初の財政破綻の瀬戸際にある」と云われ、橋・建物のライトアップを見る“廃墟観光”は急いだほうがいい。
2. 天津・滨海新区～日本からのアクセスが最高、北京からの日帰り観光も可能～鄧小平の肝煎で始まった国家的プロジェクト、天津市の滨海地区総面積 2270 平方キロもの広大な土地にニューヨークのマンハッタンに匹敵する巨大都市を計画し、壮大過ぎて現実が追い付かず開発区全体が鬼城化、超大型ショッピングセンター 2010 年頃まで営業・今は全館閉鎖、オフィス棟も民間から全く相手にされず入居は天津市政府の関係機関だけ、伊勢丹デパートは天津市内の超一等地にある 1 号店で成功した為に 2 号店として出店を断れなかった、国際会展中心の駅ビルにはイオンが出店ここから海に向かうと壮大な廃墟となったビジネス特区が現れる外壁は崩壊しつつあり黒いビルは必見、開発全体の天津市負債は約 95 兆円超で実質破綻状態と言われる。
3. 海南島・三亚～“中国のハワイ”に大規模開発が、7 つ星ホテルやテーマパークなどが幻に～ベトナムとフィリピンは南沙諸島や西沙諸島の領有権で中国と激しく対立、ここは東洋のハワイとも云われる一大リゾート、南部の三亚は 2000 年以降に巨大ホテルやコンドミニウムの大規模開発が相次ぎその象徴であるフォンフォン(鳳凰)島は必見、バブルが弾けつつあるのは明らかだが海南島の優位は圧倒的で将来的にはリゾート開発が進むのでは。
4. 海南省・鄭州～黒川紀章が都市設計を手掛けた人口 150 万人を想定した大規模な鬼城～米国のメディアがこの新都心を“中国最大のゴーストタウン”と評した高層アパートの明かりは殆どに灯っていない、ライトアップして正にゴーストホテルだ。
5. 安徽省・合肥～蜃気楼のように農地の先に浮かぶ高層マンション群が悲惨、 P 1

曹操と孫権が攻防を繰り返した三国志の戦いで知られる合肥の中心は堀に囲まれた城跡、夜になると淮河路歩行路は屋台が並び若者達で凄い熱気、2013年には新空港も開港、上海から高速鉄道で2時間の合肥迄いくと、上海の10分の一の値段で同じ様な豪邸が手に入る。

6. 内モンゴル自治区フフホト～売り出せないビル群が鬼城化まるで映画のセットの様巨大なマンション群は対岸にあるが作ったとたんにゴースト化して橋は全て通行止
7. 内モンゴル自治区・清水河～人口17万人の地方都市でも起きた不動産バブルの成れの果て、レアアース資源の開発を原資に豪華な県庁舎・サッカー場・ショッピングセンター・大型ホテル・高級住宅街など次々と建設、ほとんどが鬼城化。
8. 河南省・鶴壁(中国最古の王朝・殷の時代には衛国として歴史の舞台に登場)～石炭価格の上昇と新幹線駅の誘致でバブル化した街、鶴壁という地名は「仙人の為に白い鶴が南山の崖を舞った」という伝説にちなむ、鶴壁市は巨大な鬼城を生み出したが同様な鬼城化する都市はどこにでもある。
9. 浙江省・杭州～突然現れる三分の一エッフェル塔・シャンゼリゼ通りもある「天都城」も不動産バブルの象徴として度々紹介されているがゴーストタウン化して手の施しようがない内陸部と比べれば経済成長著しい沿岸部は雰囲気が大きく変わって、それぞれの鬼城化を比較してみると興味がある。
10. 上海・松江区～上海にロンドンの街を再現し、破綻街も撮影スポットとして人気、上海から地下鉄で新城駅下車、タクシーで5分、街はそこら中にウエディングドレスとタキシード姿のカップルが教会や石造りの橋、古風なヨーロッパ街並みの背景で、結婚写真を撮っているが一步裏道に踏み入れるとほぼすべての商店が閉鎖され、街全体が、もぬけの殻、開発を手掛けたデベロッパーは市政府の管理下にある。

#### Part 1. 中国人という体験

1. 人が多すぎる社会～中国でパソコンを買うにはパソコン市場でパーツ屋を10～20軒も周りスペックと価格を調べ最も安い店を探り当て、次に完成価格の総額交渉を30分、偽物パーツや中古品を入れられないように全てチェックしてデジカメで写真も撮る、そして目の前で梱包、中国という社会には信用という資源が枯渇その理由は単純で人が多すぎる事。

\*アジアは豊かでヨーロッパは貧しい・亜熱帯の東南アジアは米の三毛作も可能で、ヨーロッパでの小麦は3年に1回しか収穫できない、アジアで人口が多いのは稲作で沢山の子供を育てられる。

18世紀半ばの産業革命以降にアジアは貧しく、ヨーロッパは豊かに変わった。

- \*産業革命と勤勉革命～日本の人口は関ヶ原の合戦の頃1千万人で江戸時代の最初の100年で3千万人に伸びた、徳川幕府は埋め立てや灌漑事業で新田開発の田を細かくして労働集約型の勤勉革命、あぶれた年少者達は江戸や京都大阪等の商家に丁稚奉公させた。

\* 中国風の「西部開拓時代」～16 世紀末から政治混乱で 1 億人に減少、清朝による国土統一で 18 世紀に 4 億人、日本と中国でこの時期に人口が急増した原因は、ヨーロッパ諸国が絹や陶磁器を銀と交換し東南アジアの貨幣供給量が急増、市場の拡大と経済成長で未曾有の人口爆発が始まった。

\* **中国と日本の統治構造**～徳川幕府は行政命令が各藩の官僚機構を通じて末端の農民にまで届く効率的な統治組織を作り上げた、中国では朝廷から省都・府・県へと降りてきた命令はそこで拡散してしまう、人口の半分以上が行政とは何の関係も持たずに暮らしていく事になった、同じ時期に「人口ビッグバン」の衝撃を受けたものの日本人と中国人の体験は大きく異なるものとなった、広い国土と多すぎる人口を背景に中国では郷党と宗教の人的ネットワークに頼って寄る辺ない社会を生き抜いていくライフスタイルが確立、この関係が中国社会を理解するキーワードだ。

2. **幫とグワンシ**～幫はブージーレン(自己人)とも言い、一旦結ぶと家族同様、時には家族以上に絶対的な信頼を置く中国人にとり最も根元的な人間関係がグワンシ

\* 裏切られることを前提とする社会～中国人の交友は米国人と似て見知らぬ同士でも直ぐに友達になる、中国の行動文法で裏切る事で得をする機会には躊躇することなく実行し道徳的な悪とは考えない高倉健が最近迄中国で最も人気があった理由はヤクザ映画が中国人にとって分かり易いコンテンツ、中国人は会社組織ではなく個人単位で物事を考えるから競争や信賞必罰に抵抗がない精神論は通用しない。こうした傾向は欧米人にも共通する。

3. 中国共産党という秘密結社～日本で子育てもして暮らしたことのある王さんが中国観光でガイドしてくれた際に中国の役人は自分達が主人で人民を下僕だと思っている、しかしそれ以上に王さんは中国の人々が「お役人様はえらい」と思い込んでペコペコ頭を下げている事に立腹して王さんは親戚や友人 10 人位連れて日本旅行し日本の役所の窓口を見せて“ほら日本では役人が住民にペコペコ頭を下げているこれが本当の役人の姿なのよ”って、みんな口をぽかんと開けて驚いてましたけど、と王さんは「中国の民度が低いからコネを求めて誰もが右往左往し賄賂を支払わなければ何一つ進まず何時までも選挙すらできず世界中からバカにされている」と。毛沢東思想はユートピア的な共同体主義で 1960 年の文化革命の時に私有制が全否定され農村では人民公社が都市部では国営企業がコミュニオンとして人民の生活を支配した、皇帝(共産党総書記)から末端まで権力を直接行使する体制が完成した歴史的意義は大きい。

\* 中国にはなぜヤクザ組織がないのか～党員数 8668 万人という人類史上未曾有の秘密結社が 13 億人の人民を統治・支配如何なる「秘密結社」の存在も認めないから中国から黒社会が消えた、しかし犯罪組織は急速に復活している、今では売春は勿論人身売買・強盗などあらゆる犯罪が日常的に起きている、今一つは犯罪組織のリーダーが共産党の腐敗した部分(赤道)と繋がり利権の分け前

にあずかろうとする事、2014 年四川漢龍集團のトップ劉漢に死刑宣告が下された、劉は 1993 年前後にマフィア組織を結成し周永康の息子と親密だった為に司直の手を逃れてきたと云われ約 76 百億円の資産を築いた、2012 年薄熙来が失脚して周永康の部下だった李春城が起訴された事で後ろ盾を失い 2013 年に逮捕された。共産党は今あらゆるところで黒社会に取り込まれつつある。

## Part 2. 現代の錬金術

4. 経済成長を生んだゴールドラッシュ」～関満博氏がまとめた「現場」学者・中国に行く(日本経済新聞社)の中で、日本人の心の中には「中国は上手くいくはずがない」と「うまく言っただけは困る」等のねじれた思いが横たわっている、その思いが中国の現実を正しく見ようとさせない、と。天安門事件の直後 1989 年にも「中国は崩壊し難民が盲流となって日本に押し寄せてくる」という「反中」記事が氾濫、そんな中で関氏は中国の地方都市を徹底的に歩き詳細な観察で「郷鎮企業」と呼ばれる半官半民の小規模な工場がいたるところで勃興している状況を冷静に伝えた、現在から振り返れば「中国共産党の独裁は失敗するに決まっている」というイデオロギー的な論評よりも「中国は爆発的な経済成長の前提にある」という実証分析の方が圧倒的に正しかったことは明らかだ、だからこそ私達は色眼鏡で中国を見るのではなく極力客観的に現状を理解する事が肝要である。

### \* 中国を理解する 6 つの視点

①独特な社会主義 ②組織構造の基本～省・市・県・郷鎮、更に企業毎フルセットになっている、一つの組織で自己完結し経済合理性より安全保障を前提、各レベルの組織間では強烈な競争意識「諸侯経済」ともいう ③過剰人口が背景～①②の枠組みを支えているのが戸口(戸籍)制度、単位・档案(家族構成・学校の成績・党歴・職歴から交友迄の個人情報)の記録)行政官になる時・国有企業に入る場合に参照され、これらが中国共産党の統治基礎 ④共産党の存在～改革や市場経済化が進むのは中国共産党のメリットがある範囲まで ⑤地域による特殊性～地方政府が半ば独立している為、地方により対応が大きく異なる ⑥中国の人々～文化大革命時の体験者と、以降の新世代共に中国共産党の中での生き方を理解している。

\* **お金儲けの神様の秘訣**～中国ビジネスで最も大きな成功を収めたのはユニクロの柳井正氏で故邱永漢氏が彼に中国投資の指南をした「お金の流れさえ見ればそれに策を持って立っているだけ、いくらでもお金が流れ込んでくるのですよ」と、私にも秘訣を教えていただいた、鄧小平が南巡講話で改革開放政策の継続を宣言すると邱永漢氏の予想通りに香港は国際金融センターとして復活し地価も大きく上昇し、邱永漢氏は日本国の非居住者として無税で不動産売却益を手に入れ北京や上海の不動産を購入、四川省の省都・成都中心部で 4 千坪の土地に 2 棟の大型ビルを建てイトーヨーカ堂と伊勢丹を誘致、今は成都の銀座四丁目ともいべき超一等地

\* 広東型委託加工＝香港側は事実上工場経営しながら

直接投資も法人登記もせず委託加工費を郷鎮政府に支払い、その中から賃金支払い他保険も負担、香港側は法人税を払う必要もない、郷鎮政府は 25%税の手数料の内から 4 割を市や省政府に上納、残りを関係者で山分け、驚くべき事に中央政府は過去二度こうした契約を認めない方針を出したが広東省政府は無視、更に進化させた、この方式は中国では広東省のみ。

\* 1990 年代のゴールドラッシュ～外資系企業は合弁・合作・投資に分かれ、合作では年利回り 30%を台湾企業が持ちかけ郷鎮政府が約束、独資は外国企業が 100%出資し中央政府も黙認した、中国では各地方であたかも独立した企業の如く活動して事実上の自治区を作り上げていた。ユニクロの柳井氏等一部の例外を除き日本の企業や経営者はゴールドラッシュに完全に乗り遅れ中国投資で成功した香港の富裕層は今続々と大陸から撤退、日本企業は彼等から 20 年遅れて中国に殺到し「中国リスク」を思い知らされたのは 2012 年の反日デモの後だった。

\* 「国進民退」は起きているのか？～鄧小平の改革開放で国営企業を改革、積極的に外資を誘致、地方政府を競わせて民営企業を育成、この「民進国退」で爆発的な経済成長が始まり短期間で世界経済第二位となった、ところが胡錦濤政権 2002 年成立を機に「国進民退」で大手国営企業が民営企業を排除吸収する動きが顕著で

- ① 軍事・資源・エネルギー・電力・通信などで国営管理の強化
- ② 4 大国有商銀はじめ金融機関のほぼすべて国の実質管理下
- ③ 景気悪化を防ぐ為に大規模な公共投資 4 兆元の景気対策で世界金融危機後の経済成長は国策によるものだった～公共投資 35、3%→48、6%と急増、結果として「国進民退」が起こった。

\* 国策としての携帯電話産業～製造するには政府指定の検査センターで 1 機種当たり 4 百万円と 1 ヶ月以上の時間、このコストを嫌って偽物が「山寨手機」ちゃんとした機能付きで大手の正規品の半値以下、その為 2010 年 1 億 72 百万台製造販売された(世界の 12%相当)中国の国策により台湾韓国のメーカーは強制的に退去され一方中国の新興メーカーはノウハウ・経験もなく両者の利害は一致、中国企業は丸投げして国産品として販売・輸出すると支払った付加価値税の還付を受けることが出来、この制度を悪用して輸出後に密輸入して農村部などで売りさばく多品種少量生産の山寨手機は 3 千台でも利益が出る(日本メーカーは 50 万台)農村部の可処分所得は都市部の五分の一で 1 万円以下の月収で日本製品は対象外シリコンバレーで最先端の激しい競争で様々なイノベーションが生まれ急速に陳腐化、台湾韓国のメーカーが汎用品製造それらを組み立てて格安のハイテク製品を作るのが「世界の工場」である中国メーカーで彼らが目指すのは貧困層の巨大なマーケット 1 日 1 ドル以下で暮らしている世界の貧困層はアフリカを中心に世界人口の六分の一 10 億人とされ中国の山寨手機メーカーは国内市場で最適化した結果、世界の 10 億人の巨大市場を支配するビジネス戦略手に入れた事になる、

中国の製造業はパソコン・携帯電話・スマートフォン・太陽電池・自動車迄も欧米や日本メーカーが追随できない低価格を実現している。

シリコンバレーが生み出すハイテクの粋を集めた高級機種と、それを大衆化させた格安機種の技術上の二極化は日本に突き付けられた重い課題だ。

5. **鬼城と裏マネー～錬金術の正体**～2006年以降5年間の投資額の平均増加率は27%2009年はリーマンショック後の4兆元の景気対策効果で伸び率は37%2010年でも24%強で約590兆円投資の内訳は「国家予算」「国内借款」「外資」「自己資金」に分散され2010年自己資金の割合が78.5%家計の1年間の貯蓄は約5兆円で金融機関を経由して投資に回される2010年の国内供給は4.73兆元と辻褃はあっている中国ではここ30年間で4億人が農村から都市に移り住宅は1.3億戸必要、農家は0.5ヘクタール程度を耕し保証金は57～95万円程度とタダ同然で手に入れた地方政府は千倍で販売しているのが中国の“錬金術”の正体
- \* **中国社会を支える裏マネー**～ブルームバーグは2012年8月中国の家計は公式統計に反映されていない隠された収入が約177兆円あり、その8割は富裕層が得ていると報じた、巨額の裏金が共産党幹部に流れ、一部は都市部の中産階級の手にもわたり国内消費が活性化、人口の中産階級推定は約1億人、都市人口6.7億人(内2千万人富裕層4.5億人が貧しい生活)公式統計では年間平均所得は都市部で約38万円上海では約68万円
- \* **富の扉は閉じられつつある**～農民の権利意識が強くなったことで農地はタダ同然で手に入らなくなり、今一つ不動産価格の上昇鈍化、中国全体の地価総額は約5054兆円でGDPの6.6倍、日本のバブル最盛期は2136兆円当時のGDPの約4.4倍、中国は今最後の苦闘中
- \* **中国を動かす謎の巨大銀行**～「チャイニーズ・スーパーバンク中国」を動かす謎の巨大銀行(原書房)では貸出残高108兆円という世界有数であり乍ら実態が殆ど知られていなかった中国開銀会長とこの巨大組織に君臨したカリスマ的リーダー陳元の世界戦略が描かれている、大都市郊外の土地を地方政府が農民から安く徴用、銀行融資で公共交通・住宅・商業施設などのインフラ整備で地価は大きく上昇して地方政府は土地売却で巨額の収入、融資を返済と好循環で農民を除く全員がパイを分け合うwin-winの関係が出来上がった。
6. 腐敗する「腐敗に厳しい社会」～**中国の農村部を知る日本人は殆どいない**、私が訪れた安徽省の省都・合肥の郊外の農家を見て愕然とした、家と言うより廃屋で鳥小屋と一体化、地元の話によると今でも農民の暮らしはこんなものだと都会と田舎では数世紀の開きがある、1963年湖北省監利県の小さな漁村生まれの**李昌平**は華中農業大学農経学院で農業経済を学び経済学修士を取得後に自ら望んで故郷の棋盤郷の党書記になった、**手記「中国農村崩壊**～NHK出版」には驚くべき逸話が次々に出てくる～着任早々に高校時代の同級生14人と再会し

どの様な役人になればいいか教えを乞うと「いい加減な幹部になるのが一番だぞ」と15年間彼は5~6人の党書記と仕事、彼等は就任早々に誰もが「良い書記になる」と宣言、しかし僅か数ヶ月で例外なく「暗愚なふがない貪る役人」になり果てた、1986年には行政幹部15人足らず財政・税務担当3人、工商業所・司法所もなく、公安出張所には2人、それが2000年には幹部たちは全員で2千人余り彼等の郷の農民が払う税金で生活、李昌平は自ら農家の実態を調べた郷には4万人の住民の内2.5万人が出稼ぎ残っているのは老人と子供ばかり、耕地の65%は放棄されていた、土地は国有で借地料一畝当たり約3800円(6.6アール)加えて人頭税が一人当たり約1900~7600円かかる(都市住民にはかからない)それ以外に住宅税他様々な名目で課税され収穫した米を売っても80%の農民は損をしてしまう、税金で生活する役人が多すぎ90%の村が借金を抱え、年利24%の金利で高利貸しかから平均1140万円借金、軍の財政赤字は年7600万円、高利貸しはヤクザばかりか共産党幹部もいてこれが彼等の大きな収入源。

( 後編へ )